

交流サイトなど様々なインターネットサービスが普及した今、多くの人が自分の思いや経験をネット上に記録する。でも、それが死後も残り続けるとしたらどうだろう。恥ずかしいことはできれば消しておきたい。家族にだけ伝えたいこともある。立つ鳥、跡を濁さないネットの活用が、シニアに静かに広がり始めた。

「家族には内緒だが、死後に消したい交流サイト(SNS)がある。どうすればよいか」

こんな悩みを抱えていた東京都杉並区に住む松中健二さん(仮名、72)は、最近ようやく解決策を見いだした。同じSNSを使う友人と、互いの他界後にSNSの後始末をするため、IDとパスワードを伝えあう仕組みを利用することにしたのだ。

活用したのはヤフーのサイト「Yahoo!エンディング」の「お別れメッセージ」。家族にもサービスを使っていることを伝えており、家族が火葬許可証をヤフーに送付すれば、対処してほしいSNSのIDとパスワードが友人に通知される。「これで家族や友人に禍根を残さず済む」と安心した様子だ。

ブログやフェイスブック、ツイッターなどのアカウントは、他界後も削除しない限りネット上に掲載され続ける。問題のない内容ならかまわないかもしれないが、知られたくない記録はつきものだ。たとえば悪口などが見つかり、死後に他人がショックを受けるケースはありそう。個人情報が多く掲載されている、遺族に迷惑がかかることも考えられる。知らせるべきことをネットを通じて知らせる必要もあるだろう。「今後は家族や友人に不都合

## 内緒のコメントや家族への伝言…

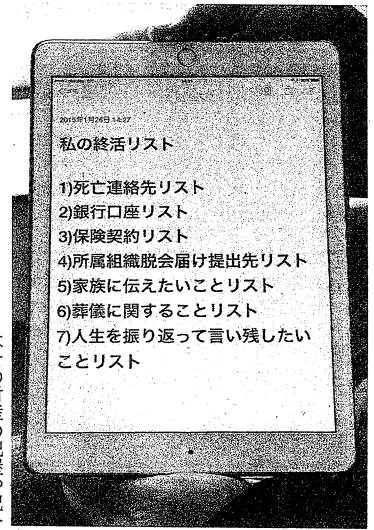
合が生じないよう、SNSなどの終活が欠かせない」と、公益財団法人タイヤ高齢社会研究財団(東京・新宿)の沢岡詩野主任研究員は訴える。実際、シニア層には松中さん

# 自分のSNS他界後は…

のように「家族や友人とネット終活をする必要性を感じる人が増えている」と、エクサネット(埼玉県戸田市)の社長で、高齢者のSNS利用に詳しい松延健児さんはみる。

東京都に住む岡本伸一さん(仮名、77)はその一人。奈川県の48歳女性)。相続で

「預貯金や金融商品など私が残すものは、漏れなくネット上に記録を残した」。目的は相続トラブルの防止だ。「父の死後、聞いたこともない山林の管理費30万円の請求が来た」(都内の47歳男性)、「土地をどちらが相続するかで、姉ともめた」(神奈川県)



牧さんがタブレットに作成した「エンディングノート」

## 広がる終活サービス 消去依頼や相続も

はその財産の把握や配分で、遺族らにトラブルが生じるケースが少なくない。そのため、全資産と配分を本人に直接伝えられるようにして、防ぐというわけだ。

岡本さんが試用しているのはiPhone(アイフォーン)向けの無料アプリ「ウケツク」(近日公開予定)。利用者はまず60秒の動画メッセージをスマートフォン(スマホ)で作成し、ウケツクに送信。その後、銀行口座や証券、タンス預金など様々な資産の情報と、死後に伝えたい人を「継承者」として登録する。

利用者の死後、継承者が身分証明書と死亡の公的証明の写真を送れば、運営会社が確認の上、メッセージと資産情報を継承者に送る仕組みだ。

岡本さんが気に入ったのは、スマホだけでなく、パソコンなどからも資産や継承者の情報を確認できる点。「エンディングノートは紛失すればすべて書き直ししかない。クラウドで情報をバックアップできるのはありがたい」既に長女らには利用してい

ることを伝えた。相続の実務を任せる銀行も決めた。「ウケツク」のサービスは遺言のよす法的拘束力はないが、「私の思いをくんで仲良く暮らしてほしい」と話す。

川崎市に住む牧壮さん(78)も、そんな思いで2年前からタブレット(多機能携帯端末)でエンディングノートをつけ始めた。メモアプリで必要なことをまとめ、クラウドサービスのエバーノートに保存している。

サイトに保存されたメモには、銀行口座リストや連絡すべき人、所属するサークルの情報など7項目が、事細かく記されていた。財産情報はクレジットカードの裏情報ポイントや有効期限まで記しており、必要に応じて情報は随時更新している。

エバーノートのIDやパスワードは「フェイスブックやツイッターのアカウントとまとめて、貸金庫に残す」。長男にはいずれそのことを伝え、他界後にすべて削除してもらうという。

ネット終活サービスは、今後さらに広がっていく可能性が高く、利用を考える人は多そうだった。ただし、遺族や友人にその実行を託さなければならぬ点では、遺言と変わらない。自分の死後を考える一つのきっかけとして、試してみるのも良さそうだった。

主なネット終活サービス		運営	特徴
エンディング	ヤフー	Yahoo!エンディング	利用者の死亡時、最大200人にメッセージを送る。遺族らが火葬許可証を送付すれば、指定した人にメールが送られる。葬儀の手配サービスもある
ウケツク	アメイジングライフ	(東京都武蔵野市)	週1回、健康報告を求める通知を本人に送付。通知に3回連続して応答しないと、継承者に可否確認を促す。本人の死亡確認後、登録した「継承者」にメッセージや財産情報をメール送付する
私ノート	デジアド	(福岡市)	iPad(アイパッド)向けのエンディングノートアプリ。自分史、伝えたい財産など8項目のノート機能がある。遺族が見るにはIDとパスワードを利用者から教えてもらう必要がある